

# 令和4年度 基本施策評価シート

作成日 令和4年7月4日

基本施策	G3 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります		
施策の目的 (対象と意図)	対象	意 図	
	市民が	いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションに親しんでいる。	
長崎市第四次総合計画[後期基本計画] 基本施策掲載ページ		226ページ ~ 227ページ	
基本施策主管課名	スポーツ振興課	所属長名	井 克史
関係課名	中央総合事務所地域整備1課、中央総合事務所地域整備2課、生涯学習課、健康教育課、健康づくり課		

## 基本施策の振返り

後期基本計画策定時の課題		後期基本計画期間の取組み(H28~R3年度)	
個別施策	G3-1	スポーツ・レクリエーションを普及促進します	
ア 市民が気軽に運動やスポーツに親しむことができる環境の充実	⇒	(ア)市民体育・レクリエーション祭や長崎ベイサイドマラソン&ウオーク等の各種スポーツイベントの開催 (イ)ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致等によるスポーツに親しむきっかけづくり (ウ)V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカのホームゲームへの市内の小中学生とその保護者の無料招待	
イ 市民ニーズに応じたスポーツの場の提供	⇒	(ア)市営体育施設や学校体育施設の貸出しによるスポーツを「する場所」の提供 (イ)市営体育施設や学校体育施設における施設及び設備の改修	
個別施策	G3-2	競技スポーツを強化します	
ア ジュニア層の競技力向上対策事業の継続した取り組み	⇒	(ア)各競技団体が実施する強化事業の支援 (イ)各競技団体が実施する強化練習、遠征試合、優秀チームや指導者招聘などのジュニア強化事業の支援 (ウ)スポーツ教室や指導者研修会等のスポーツ普及指導事業の支援 (エ)全国大会等出場選手に対する経費の一部補助	



成果及び効果(H28~R3年度)		
個別施策	G3-1	スポーツ・レクリエーションを普及促進します
<p>①スポーツイベント等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民体育・レクリエーション祭や長崎ベイサイドマラソン&amp;ウオーク等の各種スポーツイベントを開催することにより、多くの市民がスポーツに親しむことができ、スポーツをする機会の充実に寄与した。</li> <li>※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等が中止や縮小となった。</li> </ul> <p>・大規模世界大会(ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック等)のキャンプを誘致し、世界のトップ選手と市民との触れ合いなどを通じ、スポーツに親しむきっかけに繋がった。</p> <p>・トップレベルの競技を間近でみる機会を提供することで、スポーツへの関心を高めることに繋がった。</p>		

<p>②スポーツをする場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市営体育施設や学校体育施設の貸し出しを行い、期間中延1,356万人(平成28年度～令和3年度)が体育施設を利用したことにより、市民がスポーツに親しむ機会を提供することができた。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営体育施設や学校体育施設における施設及び設備の改修(期間中15件)を行ったことで、利用者が快適に体育施設を利用することができるようになった。</li> </ul>		
個別施策	G3-2	競技スポーツを強化します
<p>①競技力向上のための取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技団体が実施する強化事業について、年間約30団体(コロナ禍の時期を除く)に対し支援を行い、競技力の向上を図った。</li> </ul>		

問題点とその要因(H28～R3年度)		
個別施策	G3-1	スポーツ・レクリエーションを普及促進します
<p>①スポーツイベント等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツイベントの参加者数は減少傾向にある。誰でも気軽に取り組めるレクリエーションスポーツの周知を含め、各種スポーツイベント開催の広報周知が行き届いていない。</li> </ul>		
<p>②スポーツをする場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市営体育施設の平日昼間の利用を促進するための対策が十分でないことから、土日祝日や夜間の利用者数に比べ、平日昼間の利用者数が少ない。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケートボードやボルダリングなどの新たな流行となっているスポーツの場として整備する場所や内容等の検討が進んでいないことから、新たな流行となっているスポーツができる場の整備が十分でない。</li> </ul>		
個別施策	G3-2	競技スポーツを強化します
<p>①競技力向上のための取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技力向上の取組みは、すぐに効果が表れない面もあり、全国大会での上位入賞件数(市スポーツ表彰の表彰対象)が減少傾向にある。</li> </ul>		

## 今後の取組方針

### G3-1

①スポーツイベント等の開催 → 【G3-1 スポーツ・レクリエーションをする場と機会の充実を図ります】  
 ・市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、市民参加のスポーツイベントなどの情報提供を効果的に行う。  
 ・コロナ禍においても、気軽にスポーツに親しむことができるよう市のホームページで自宅等でできる運動の動画等を周知する。

②スポーツをする場所の提供 → 【G3-1 スポーツ・レクリエーションをする場と機会の充実を図ります】  
 ・土日祝日や夜間に比べて利用者が少ない平日昼間の市営体育施設の利用促進を図るため、平日昼間の施設の空き状況の周知や平日昼間に参加可能な市民を対象とした事業実施など、競技団体や指定管理者と連携して取り組む。  
 ・新たな流行となっているスポーツの場の整備に向け、関係部局等との連携を図りながら、場所や内容等の検討を進める。  
 ・市民が快適にスポーツ施設を利用できるよう、施設の計画的な改修を行うとともに、体育施設の再配置等について、競技団体からの意見聴取や関係部局との調整を行う。

### G3-2

①競技力向上のための取組み → 【G3-2 スポーツを見る機会の創出と競技者の支援を図ります】  
 ・世界規模の競技大会のキャンプ実施の実績をもとに、長崎県スポーツコミッションと連携し、今後も国内外のスポーツチームの招致に取り組む。  
 ・V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカのホームゲームへの招待事業を継続して実施し、「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高めるきっかけをつくる。  
 ・競技団体と連携して、競技力向上対策事業を継続的に実施することで、ジュニア層も含めた競技者の競技力向上に努める。  
 ・長崎がんばらば国体等で活躍した優秀な指導者等の地元への定着について、競技団体と連携して取り組む。

## 成果指標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R元	R2	R3
運動・スポーツ実施率 (週に1日以上実施)	37.6% (26年度)	↑ 目標値	46.7%	51.3%	55.9%	60.4%	65.0%	65.0%
		実績値	37.4%	34.7%	36.2%	38.5%	42.6%	44.9%
		達成率	80.1%	67.6%	64.8%	63.7%	65.5%	69.1%
市営スポーツ施設の利用者数	2,583,480人 (26年度)	↑ 目標値	2,672,000	2,717,000	2,763,000	2,810,000	2,860,000	2,860,000
		実績値	2,636,866	2,519,983	2,602,788	2,261,835	1,829,517	1,708,335
		達成率	98.7%	92.7%	94.2%	106.7%	64.0%	59.7%

## 基本施策の評価

Dd 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている

### 判断理由

・基本施策の成果指標のすべてが100%未満の目標達成率で、目標達成率が95%未満の低いものもあるため「D」とする。  
 ・個別施策の成果指標すべてが100%未満の目標達成率で、目標達成率が95%未満の低いものもあるため「d」とする。

## 二次評価(施策評価会議による評価)

●基本施策の評価「Dd」については、所管評価のとおり。

## 令和4年度 個別施策評価シート

個別施策	G3-1	スポーツ・レクリエーションを普及促進します		
施策の目的 (対象と意図)	対 象		意 図	
	市民が		日頃から自分に適したスポーツやレクリエーションに親しんでいる。	
個別施策主管課名	スポーツ振興課		所属長名	井 克史

### 令和3年度 of 取組概要

- ①スポーツイベント等の開催
- ・市民体育・レクリエーション祭や新春駅伝大会等のスポーツイベントを新型コロナウイルス対策を講じ開催した。
  - ・V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカのホームゲームに市内の小中学生とその保護者2,700人を無料招待した。
  - ・健康教室において、ノルディックウォーキング教室を12回開催し、153人の市民が参加した。【F7-1から再掲】
  - ※ノルディックウォーキング: 2本のポールを使って行うウォーキング。
  - ・ラジオ体操を通して健康づくりの普及・啓発を行うため、新型コロナウイルス感染対策に留意し、各々の地域に合ったラジオ体操を推進した。【F7-1から再掲】
  - ・夏休みなどに実施を希望される自治会(子供会など)に対して、新型コロナウイルス感染対策の方法を提案し、より安全に実施できるよう支援した。【F7-1から再掲】
- ②スポーツをする場所の提供
- ・延約170万人の市民に対し、市営体育施設や学校体育施設の貸出し等、スポーツを「する場所」を提供した。
  - ・市民総合プールにおける空調設備改修工事、屋外プールサイド全面改修工事及び屋外幼児用プール改修工事をはじめ、スポーツ施設の適正な維持管理を行った。

### 評価(成果)

- ①スポーツイベント等の開催
- ・市民体育・レクリエーション祭は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により41競技中13競技が中止となり、新春駅伝大会は参加チーム数を制限し縮小しての開催となったが、市民がスポーツに親しむことができた。
  - ・V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカのホームゲームへの招待事業を実施することで、子ども達が「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高めるきっかけをつくることができた。
  - ・ノルディックウォーキングやラジオ体操を通じ、日頃から運動を行う習慣づくりができた。
- ②スポーツをする場所の提供
- ・市営体育施設や学校体育施設の貸し出しを行い、延約170万人の市民が体育施設を利用したことにより、市民がスポーツに親しむ機会を提供することができた。
  - ・体育施設の改修等を行ったことで、利用者が快適に施設を利用することができるようになった。

### 評価(問題点とその要因)

- ①スポーツイベント等の開催
- ・広報紙やホームページ等で周知を行っているが、スポーツイベントへの参加者は減少しており、十分な周知に至っていない。
  - ・新型コロナウイルスの影響により、参加者数に制限を設けたことなどにより、イベントの参加者数が減少した。
- ②スポーツをする場所の提供
- ・市営体育施設の平日昼間の利用を促進するための対策が十分でないことから、土日祝日や夜間の利用者数に比べ、平日昼間の利用者数が少ない。
  - ・スケートボードなどができる場として検討していた場所が、適地と判断されることなどから、新たな流行となっているスポーツの場の整備が十分にできていない。

## 今後の取組方針

### ①スポーツイベント等の開催

- ・市民が気軽にスポーツに親しむことができるレクリエーションスポーツなどの周知やそれを体験できる機会を提供するとともに、市民参加のスポーツイベントなどの情報提供を効果的に行う。
- ・世界規模の競技大会のキャンプの招致実績を生かし、長崎県スポーツコミッションと連携し、今後も国内外のスポーツチームの招致に取り組む。
- ・スポーツツーリズムの推進のため、各種スポーツ大会や合宿の誘致活動、相談業務、情報発信を長崎県スポーツコミッションや競技団体等と連携し、スポーツ大会・合宿の誘致に取り組む。
- ・J1復帰をめざすV・ファーレン長崎及びB3リーグ2021-2022シーズンで優勝を果たし、認知度が高まっている「長崎ヴェルカ」のホームゲームへの招待事業を継続して実施することで、「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高める。
- ・競技団体と連携を図りながら、競技普及活動や各種大会の創設など市民が気軽にスポーツに参加できる機会を提供し、スポーツ人口の拡大につなげる。
- ・コロナ禍においても、気軽にスポーツに親しむことができるよう市のホームページで自宅等でできる運動の動画等を周知する。

### ②スポーツをする場所の提供

- ・土日祝日や夜間に比べて利用者が少ない平日昼間の市営体育施設の利用促進を図るため、平日昼間の施設の空き状況の周知や平日昼間に参加可能な市民を対象とした事業実施など、競技団体や指定管理者と連携して取り組む。
- ・施設の適正な維持管理はもとより、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底と利用者への周知を継続して行い、市営体育施設や学校体育施設の安全安心な利用に努める。
- ・新たな流行となっているスポーツの場の整備に向け、関係部局等との連携を図りながら、場所や内容等の検討を進める。
- ・市民が快適に体育施設を利用できるよう、施設の再配置等について、競技団体からの意見聴取や関係部局との調整を行う。

## 成果指標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R元	R2	R3
各種スポーツイベントへの参加者数	17,759人 (25年度)	↑ 目標値	18,800	19,200	19,600	20,000	20,400	20,400
		実績値	15,990	15,148	14,830	14,799	4,645	5,229
		達成率	85.1%	78.9%	75.7%	74.0%	22.8%	25.6%
市営体育館の利用者数	378,983人 (26年度)	↑ 目標値	385,000	388,000	391,000	394,000	397,000	397,000
		実績値	377,310	377,556	368,335	369,066	238,902	224,906
		達成率	98.0%	97.3%	94.2%	93.7%	60.2%	56.7%
学校体育施設の利用者数	557,424人 (26年度)	↑ 目標値	562,000	564,000	566,000	568,000	571,000	571,000
		実績値	529,226	471,223	568,627	520,319	446,249	390,700
		達成率	94.2%	83.6%	100.5%	91.6%	78.2%	68.4%
V・ファーレン長崎招待事業の応募件数	1,735件 (26年度)	↑ 目標値	1,743	1,751	1,759	1,767	1,775	1,775
		実績値	1,379	1,772	5,541	2,174	1,430	1,471
		達成率	79.1%	101.2%	315.0%	123.0%	80.6%	82.9%

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	事業実績、成果・課題等	
1	(事業名) 社会体育行事開催費  【スポーツ振興課】  (事業目的) 各体育行事参加者の健康増進とスポーツ人口の底辺拡大を図る。  (事業概要) スポーツイベントの開催(レクリエーション・スポーツ教室、市民体育・レクリエーション祭、長崎ベイサイドマラソン&ウオーク、長崎新春駅伝等)	成果指標	各種スポーツイベントへの参加者数
		目標値	20,400 人
		実績値	5,229 人
		達成率	25.6 %
		決算(見込)額	4,270,657 円
		成果指標及び目標値の説明	スポーツイベントへの参加者が増えることで、スポーツをする機会の充実が図られていると考えられるため、市主催の各種スポーツイベントへの参加者数を成果指標とした。 基準値17,759人(平成25年度)から毎年2%増とすることを目標とした。
2	(事業名) 小・中学校体育施設開放運営費  【スポーツ振興課】  (事業目的) 市民への社会体育の普及及びスポーツ活動の場の確保を図る。  (事業概要) 小・中学校体育館・武道場・運動場等の貸出及び管理運営を行う。	成果指標	小・中学校体育施設開放の利用者数
		目標値	550,000 人
		実績値	377,577 人
		達成率	68.7 %
		決算(見込)額	13,127,960 円
		成果指標及び目標値の説明	施設利用者が増えることで、スポーツをする施設の充実が図られていると考えられるため、市立学校運動場及び体育館等のスポーツ解放による利用者数を成果指標とした。 基準値537,876人(平成26年度)から毎年0.4%増を目標とした。
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 体育館:340,285人 運動場:10,406人 武道場:26,886人 合計:377,577人  (成果・課題等) 利用者数は目標値に達しなかったが、市民の身近にある学校の体育施設を開放することで、気軽にスポーツをする場を提供できた。 コロナとの共存を図りながら、学校体育施設を安心して利用できるよう、引き続き感染対策の徹底と利用者への周知に努めていく必要がある。		

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	事業実績、成果・課題等	
3	<p>(事業名) 東京オリンピック・パラリンピックキャンプ誘致推進費</p> <p>【スポーツ振興課】</p> <p>(事業目的) 東京2020オリンピック・パラリンピックにおける各国選手団のキャンプを長崎市に誘致することで、世界のトップ選手とのふれあいなどを通じた国際交流を行い、地域活性化につなげるとともに、長崎市のスポーツ振興を図る。</p> <p>(事業概要) 大会開催前に実施される事前キャンプ誘致のため、各国との交渉や情報収集を行う。</p>	成果指標	誘致活動を実施した相手国の数
		目標値	3 か国
		実績値	1 か国
		達成率	33.3 %
		決算(見込)額	12,752,650 円
		成果指標及び目標値の説明	<p>誘致活動を実施する相手国の数を成果指標とした。姉妹都市がある国のうち、市内に領事館を有する3か国への誘致を目標とした。</p>
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) ・長崎県、長崎県スポーツコミッションとの連携により、ポルトガル競泳チームを受入れることができた。</p> <p>(成果・課題等) コロナ禍での受け入れとなり、直接的に市民との交流ができなかったが、選手団と小学生とのメッセージの交換などができ、つながりができた。今後も招致活動を継続し、市民との交流を通じてスポーツ振興を図る必要がある。</p>		

## 令和4年度 個別施策評価シート

個別施策	G3-2	競技スポーツを強化します		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 象 図		
	市民が	競技スポーツにおいて、高い競技力を発揮している。		
個別施策主管課名	スポーツ振興課	所属長名	井 克史	

### 令和3年度 of 取組概要

#### ①競技力向上のための取組み

- ・国体競技種目について、各競技団体が実施した強化事業を支援することで競技力の向上を図った。(20競技団体)
- ・各競技団体が実施するスポーツ教室や指導者研修会等を支援するなど、各競技の普及と指導者育成等を図った。(33競技団体)
- ・各競技団体が実施する強化練習、遠征試合、優秀チームや指導者招聘などのジュニア強化事業を支援することでジュニアスポーツの競技力向上を図った。(25競技団体)
- ・全国大会等に出場する小・中学生及び高校生に対して、大会出場を称えとともに、ジュニア層の競技力向上につなげるため、奨励金を交付した。(交付件数:170件)

### 評価(成果)

#### ①競技力向上のための取組み

- ・各競技団体が実施する各競技の普及と指導者育成等を図る事業及びジュニア強化事業については、コロナ禍の中ではあったが、継続して支援することができた。
- ・コロナ禍の中ではあったが、全国大会等に出場するジュニア層への奨励金の交付行い、競技力向上を支援することができた。

### 評価(問題点とその要因)

#### ①競技力向上のための取組み

- ・国体における長崎県の順位 of 低迷及び国体に出場する長崎県選手団における長崎市出身者の割合が目標を下回っている。
- ・小中学生の全国大会等への出場に係る補助件数や市スポーツ表彰の表彰件数が目標値を下回るなど、競技力の向上対策の成果が表れていない。

### 今後の取組方針

#### ①競技力向上のための取組み

- ・今後も競技団体と連携して、競技力向上対策事業を実施することで、ジュニア層も含めた競技者の競技力向上に努める。
- ・指導者の指導能力向上を図るため、民間指導者の発掘や指導者講習会を行う。
- ・長崎がんばらば国体における競技役員等の養成事業により、競技団体の競技運営能力が向上していることを踏まえ、今後も質の高い競技会を開催しながら、選手の育成・強化に取り組む。
- ・長崎がんばらば国体活躍した優秀な指導者等の地元への定着について、競技団体と連携して取り組む。
- ・スポーツ少年団等の部員募集を支援するとともに、スポーツ交歓会の開催等を通じて部員相互の研鑽を図るなど、子どもたちがお互いの競技力を高めあえる機会を創出する。



## 成果指標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R元	R2	R3	
国民体育大会に出場する長崎県選手団における長崎市出身者の割合	33.9% (26年度)	↑	目標値	35.3%	36.0%	36.7%	37.4%	38.2%	38.2%
		実績値	35.3%	32.2%	34.7%	33.8%	0.0%	0.0%	
		達成率	100.0%	89.4%	94.6%	90.4%	0.0%	0.0%	
スポーツ表彰の受賞件数	114件 (25年度)	↑	目標値	127	132	137	142	147	147
		実績値	80	93	55	52	15	47	
		達成率	63.0%	70.5%	40.1%	36.6%	10.2%	32.0%	
【補助指標】 小中学生の国際・全国・九州大会出場に係る補助対象件数(令和2年度は奨励金)	253件 (26年度)	↑	目標値	270	280	290	300	310	310
		実績値	270	266	245	193	64	147	
		達成率	100.0%	95.0%	84.5%	64.3%	20.6%	47.4%	

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	事業実績、成果・課題等	
1	<p>(事業名) ジュニアスポーツ競技力向上対策費補助金</p> <p>【スポーツ振興課】</p> <p>(事業目的) 全国大会等での本市ジュニア選手の活躍を増やし、底辺の拡大も図る。</p> <p>(事業概要) 市スポーツ協会加盟団体がジュニア層の競技力向上を図る強化合同練習、遠征試合、優秀チーム・指導者招致事業を行うための経費の一部を補助する。</p>	成果指標	国体長崎県選手団における長崎市出身選手の割合
		目標値	38.2 %
		実績値	0.0 %
		達成率	0.0 %
		決算(見込)額	12,364,548 円
		成果指標及び目標値の説明	<p>国体長崎県選手団における長崎市出身者の割合が増えることで、競技者の競技力が向上したと考えられるため、国民体育大会に出場する県選手団における市出身者の割合を成果指標とした。 基準値33.9%(平成26年度)から前年度比2.0%の増とすることを目標とした。</p>
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 交付団体数:25競技団体 補助対象事業:213回 事業参加者数:14,606人</p> <p>(成果・課題等) 新型コロナウイルス感染症の影響により、交付団体数及び補助対象事業数、参加者数すべてが減少した。</p> <p>※成果指標は、2021三重国体は中止のため実績値なし</p>		